

第7期介護保険料の引上げ阻止を（H30～32年度）

**5億円の基金で、据え置き可能**

	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	合計
H24.3.31	274	343	617	343	361	320	310	198	1,532	2,149
H25.3.31	298	377	675	364	398	306	317	173	1,558	2,233
H26.3.31	324	414	738	377	389	313	292	157	1,528	2,266
H27.3.31	350	415	765	380	420	356	312	171	1,639	2,404
H28.3.31	325	438	763	433	416	372	313	156	1,690	2,453
H29.3.31	311	457	768	434	422	355	325	181	1,717	2,485

9月26日の会議資料には、介護給付費準備基金 平成28年度末残高 3億2935万円と記されています。

進めています。すでに1月20日には、電子  
案がつくられていますが、インターネット  
の「会議の公開」にも中身が書かれて  
いません。

**基金残高5億217万円**

となつていま

前回の第6期計画では、保険料基準月額4,600円で100円引上げられました。しかし、5億円の基金残高は、値上げしなくともよかつたことを、示しています。日本共産党は、前回もこのことを指摘してきました。第7期計画も、据え置きや引き下げを検討すべきと要求しています。

## サービス低下のダブルパンチ

審議会に示された《表》にも、要支援



## 保険料・利用料の減免制度拡充を

「この上3年毎に保険料が引きあがつたのでは、年金生活者はやつていけません。

ています。碧南市は、形ばかりの制度ではなく、他自治体のように基準緩和や対象者拡充を行うべきです。介護審議会の委員にも県下の実態を知らせるべきです。

碧南市は、2015年実績で、介護保険料減免実績は0件。利用料減免は1件13万5千円です。愛知県下では、保険料減免制度は27自治体（50%）で、一宮市は2830件、2584万円の減免を、蟹江町では512件688万円実施しています。利用料減免も、『下表』のように、豊橋市、武豊町など利用料半額減免を行つ

## 11月に保険料案決定か?

65歳以上の保険料は、3年間給付費総額を逆算して月額基準額が決められます。

額を逆算して月額基準額が決められます。市民の知らないところで、審議メンバーにも必要な情報が伝えられず決定されることは困ります。11月の審議会では、大筋が決められる予定です。会議の傍聴や委員に意見を届けましょう。（委員は19人。老人クラブ、民生委員、医師会等。碧南市のホームページに掲載されています）

介護保険利用料の低所得減免状況（県下実施自治体21団体）			
自治体	2105年実績（件）	金額（円）	対象者
江南市	3,402	10,924,295	所得税非課税者 5 %に
武豊町	2,070	21,320,132	住民税非課税者半額に
阿久比町	615	2,247,116	非課税世帯のホームヘルプ 3 %に
西尾市	878	7,143,979	第一段階半額。2・3段階 要介護 3～5(5)分のに
豊橋市	996	36,907,412	独自の基準で高額介護 サービス費限度額との差 額を助成
刈谷市	162	586,529	住民税非課税世帯2分の1
碧南市	1	135,000	第1、2段階、施設サービ ス限度額設定

